

第21回吹田市総合計画策定委員会議事概要

- 1 日 時 平成25年3月25日（月）午前10時から午前11時半まで
- 2 場 所 吹田市役所高層棟4階 特別会議室
- 3 出席者 別紙（出欠一覧）参照
- 4 配付資料 (1) 資料-1 吹田市総合計画（素案）に係る市民意見について
(2) 資料-2 ロードマップの修正一覧
(3) 資料-3 ベース（基本姿勢）について
(4) 参考資料 吹田市総合計画審議会部会での審議について

5 議事内容

- (1) 総合計画基本計画（素案）に係る市民意見について

事務局より資料1を用いて、市民意見について説明

【質疑応答事項】概要

委員長：市民意見に対して事務局から対応案の提示があった。審議会でお示しするこの資料に対して、質問や意見はないか。

質問1：説明会では100名が来られたということだが、重複して来た市民はいたか。

回答1：名前を確認したわけではないが、顔ぶれとしては二度来られた方はいなかったように思う。

- (2) ロードマップの修正案について

事務局より資料2を用いて、ロードマップの修正案について説明。

【質疑応答事項】概要

委員長：審議会で提示するための資料として、修正案をとりまとめられている。質問はないか。

質問1-1：40、41ページで、修正前では7つのルートの横にベースがあったが、修正後はベースが背景となり大きく一つにくくられている。どういう経緯があったか説明をしてほしい。

回答1-1：修正前の図では、中間点までの時期に行政経営の確立を行い、中間点の後に市民自治の仕組みをつくる、という表現に見えてしまうということで審議会からは、これらは同時に進めていくべきという意見をいただいていた。それを受けて、ベースはルートを推進していくうえでの基盤となるものということがイメージできるように図を修正した。そういったことから中間点という表現は割愛した。

質問1-2：基盤としてのベースは、市民と行政の2つがあり、中間点までと後で、段階的に進めていくという表現から改めたということか。

回答 1-2 : 中間点の後という部分については、もともと同時進行で進めるものと考えていたが、それがうまく表現できていなかったものであり、イメージに合うように修正した。

質問 1-3 : ベースの楕円が 2 つあるが、それぞれの色はどうかっているのか。

回答 1-3 : ベースとなる 2 つの円が重なっている部分が濃くなっている。どちらかが中に含まれているというわけではない。また、ベースは基盤ということで、ベースの上にルートが乗っているような立体感のある見せ方にしている。

質問 2 : 新しい総合計画ということで分かりやすさが大事だと思うが、ルートのことを「R」と表現していること、ローマ数字を用いていることは分かりにくいと考える。特にルートⅣ以降は市民にとって分かりにくいのではないか。

回答 2 : ローマ数字については事務局としても苦勞する部分はある、手間取っているとところもある。分かりやすい計画にしたいので、今のご意見は十分に検討していきたい。

質問 3 : 4 1 ページでは、縦書きにルートを並べてある。この場面では、これまで通り左からの方が読みやすいとも思うが、公文書上のルールに従うと縦書きであれば右から読ませることにならないか。教育委員会では右からにしている。また、図の一番下の市民ニーズの上の三角形マークは、今は一部欠けているようだが、最終的には三角形に表示する予定か。

回答 3 : 公文書上のルールについては確認しておく。三角形の形については立体的な図としているので、白黒だとそのように見えてしまっている。

質問 4-1 : 4 1 ページでは、図を差し替えるだけということの提案となっているが、図の周りに記載されていた文字は残っているか。「基本方向」という言葉がなくなっている。

回答 4-1 : 修正後の図でも、ルートⅠ～Ⅶが基本方向であることが分かるような表記に修正する。

意見 4-2 : 上の文字のところに入れるだけでいいと思う。

回答 4-2 : 基本方向ということが分かるような表現を検討する。

質問 5 : 色の薄い方が、ベースⅠのイメージか。

回答 5 : 濃いところが重複している部分で、ⅠもⅡも本来は薄い色をしている。

質問 6-1 : 3 9 ページの図で、防犯は他とは連携せずに、ここだけで完結するよう見えるがそういう意味か。

回答 6-1 : 基本計画では防災については 9 8、9 9 ページに記載されており、項目 6 の「他の施策との連携」のところで、防災と関連する施策について挙げている。1 0 0、1 0 1 ページが防犯である。防犯では、他の施策と

の関係が挙げられていないので、全体図にも記載しようがなかった。本来なら警察など市役所外との連携の要素もあるので、今はここには出てこないが、今後の議論の中で関係が明らかになれば、審議会の審議を経て入れていくこともできる。そうなればこの図も変更される。

意見 6-2 : 表現の方法の話しである。このイメージ図は、基本計画における施策の関連を表している、という注記があれば済むと思う。

回答 6-2 : 図に注記を入れる方向で修正をしたい。

意見 6-3 : 全体像が分かる図を作ることを目的としている。その意図が伝わるように、注釈を入れるといい。

質問 7 : 35 ページの修正は、39 ページの図に反映されているか。

回答 7 : 修正が漏れているので反映させる。

質問 8 : 39 ページの図で示している施策のキーワードはどこかからの引用か。地域福祉など細かい内容もあれば、エネルギーのような大くくりの表現もある。

回答 8 : 基本計画のまちのイメージのタイトルに出てくる言葉を抽出した。キーワードについては整理する。

質問 9 : ルート I のところの男女平等という言葉は、男女共同参画の方が適切ではないか。ロードマップの 42 ページに記載されている。

回答 9 : 男女共同参画という言葉に修正する。

質問 10 : 「吹田市内外の条件」から導き出される「まちの将来像」とあり、吹田市内外の条件として特徴が 5 点挙げられ、暮らしを支える生活関連施設、交通の利便性などと特徴が挙げられているが、やや具体性に欠けるのではないか。

また、「市民意識」として 11 の項目が列挙してあるが、言葉の羅列になっており、分かりやすいとは言えない。「社会経済状況の変化」では、「新たな公」という言葉が用いられており、「新たな公共」と混在してしまっている。

表現はもう少し工夫した上で、文言を精査したほうがいい。特に市民意識の 11 点の列挙が、何のことなのかよく分からない。誰が見ても分かりやすい表記にする方が良い。

回答 10 : 市民意識については、重要度が高く満足度が低いものを挙げているが、表現について修正する。

意見 11-1 : 同じページの、まちの将来像の囲みの中で、「ひと」がテーマ、と一言だけ書いてある。急にひらがなの「ひと」が出てくるのが唐突で違和感がある。

回答 11-1 : ロードマップ 23 ページの図の上の一文、「人・まち・元気創造都市 す

いた」の趣旨を一言で表すため、キーワードの「ひと」を抽出して記載しているが、原文に合わせれば漢字の表記になる。

意見 1 1 - 2 : 漢字に合わせた方がいいのでは。

回答 1 1 - 2 : 漢字に修正する。

説明 1 2 - 1 : 3 8、3 9 ページは、ロードマップに書いてあることについて、一目で全体像が分かるようにしたもの。基本構想で人にスポットを当てることが書いてあるので、それを表現している。今指摘いただいたところも、基本構想にすでにある表現で、ここでそれを修正すれば連動して基本構想も修正されるものである。盛りだくさんの内容を要約しているので、必ずしも分かりやすくはないかもしれないが、まとめのページとして挿入を考えている。

質問 1 2 - 1 : 何ページ目に入れるのか？

回答 1 2 - 1 : 3 ページの目次の次のページに入れることを考えている。

指示 1 2 - 1 : インデックス機能を持つページで、どこに何が書いてあるのか分かるようにするというのが目的。あまり書き込みすぎると逆に分かりにくくなると思うが、単語の羅列よりはある程度の分かりやすさも必要だと思う。他で漢字を使っているところは、漢字で表記するように。

意見 1 2 - 2 : 3 9 ページは必要なのだろうか。施策のつながりなど、細かいところを表現するために、かえって分かりにくくなっているようだ。将来像は他でも書いてあるし、無理にここで書き込もうとすると、誤解を招くのではないか。

補足 1 2 - 2 : 3 9 ページの意図を説明する。審議会で市民や学識経験者から、縦割り感の払拭のため施策間のつながりを明記するように意見があった。委員との相談の中で、政策同士のつながりを解説してはどうかとアドバイスを受け、それに対応し、分かりやすく示すために色分けしている。

意見 1 2 - 2 : それをここで示すのがいいのかという議論はある。この冒頭のページでという指摘だったと思う。

回答 1 2 - 2 : 審議会委員の意見は、各段階で解説が必要という意見だった。施策の横のつながりを意識し、他にも分かりやすい表現はできないかと、マップなども試作したが、これより分かりやすくはならなかったため、3 9 ページの分を審議会にお示ししたいと思っている。

確認 1 2 - 2 : この図をもとに詳細については各ページを参照してもらおう、ということ。

説明 1 2 - 2 : 審議会委員から施策の関連が示されている事例として、尼崎市の総合計画をご紹介いただいた。今回はそれを参考にしながら考えさせてもらった。

委員長 : 色々な場面でいただいたご意見は、事務局で集約してもらい、これからも

この場で検討していきたい。

(3) ベース（基本姿勢）について

事務局より資料3を用いて、ベース（基本姿勢）の表現方法について説明を行った。

【質疑応答事項】 概要

委員長：今回追加された内容は、新しい公共を前面に出したこと。ご意見等はいかがか。

質問1：43ページの概念図は、ベースⅠとⅡが絡み合って新しい公共を育んでいく、というのは正しい解釈か。

回答1：ベースⅠとⅡは、新しい取組を進めるための基盤である。基盤が7つのルートにどう関与していくかが、新しい公共を育む環境として重要だと考える。43ページの図にも7つのルートを載せることも考えたが、簡素化するために省略した。

意見2：41ページも43ページと同様に、2つのお皿のようにしてはどうか。

回答2：白黒なので少し分かりにくいですが、41ページの図も2つのお皿になっている、濃い部分は重なっている部分を意味している。

意見3：41ページも43ページも同じことを示しているということか。

回答3：同じことを示している。

質問4：確認をすると、ベースⅠとⅡが重なっていて、その部分が新しい公共を生む環境ということか。

回答4：その通りで、その重なっているところが、市民に関与してもらいたいところである。

質問5：43ページの文章では、「行政だけではなく」とあり、行政と新しい公共の関わり方がはっきりしていないのでややこしいのだと思う。ロードマップの32ページの表現と、資料3の43ページの表現で、主体の整合性が図られていない。つまり、43ページの文章では、ベースⅡのことが述べられていないのではないか。

回答5：行政が前面に出た方がいいのか、市民自治を支える黒子の方がいいのか、その辺りは議論の余地があり、それによって表現も変わってくる。ベースⅠとⅡは円の大きさは同じであるが、Ⅱはあまり表に出さない方がいいと考え、文章としても控え目に記述している。

質問6：ベースⅡは行政の役割として位置付けているので、しっかり書くべきではないか。

回答6：言葉は足りないかもしれない。ベースⅡの行政経営は、Ⅰの市民自治の「ベース」にもなるもので、市民参画を進めるために必要である。それも分かるような表現を検討したい。

意見 7 : 行政経営全体として、新たな公共を重視しながらやっていく、という趣旨が伝わる表現が求められているのではないか。ベース I と II の関わり方を明記しないと、それは伝わらない。職員のありようの話だけではなく、限られた財源の中で市民のニーズに応えながらやっていくという姿勢を伝える必要がある。計画を実施するベースになるということが、すなわち新しい公共というわけではない。

意見 8 : 新しい公共はずいぶん前から聞かれている言葉だが、現在もこの表現が正しいか疑問。市民協働の現場での最新の理論が他にないか、確認しておいてほしい。

質問 9 : 今回初めて登場した言葉か。

回答 9 : 序論や役割分担の説明のところで出てきていた言葉である。

意見 1 0 : 3 2 ページで、自治会等、が挙げられている。審議会の記録を確認したところ、NPO だけではなく自治会が地域を担っているという意見もあるようなので、自治会等と入れたい気持ちも分かるが、市民、NPO 等、自治会等と分けて記載した場合、それぞれの関係が説明できるだろうか。また、矢印で関係性を表わすのは混乱を招くという意見は、以前出ていたと思う。これまでは、市民、企業等、行政のトライアングルの関係だったように思う。

回答 1 0 : 自治会等というのは、青少年対策委員会などの地域に根差した団体が含まれるイメージ。NPO はテーマ別の取組を行う団体のことである。産学官の連携にもスポットを当てていることから、より具体的に記すためにこのように分類した。3 者のトライアングルの関係というより、こちらの方が分かりやすいのではないかと考えた。

質問 1 1 : では、市民と NPO 等、自治会等はどのように区別しているのか。

回答 1 1 : 市民は、例えば生涯学習センターに個人的に行かれている人などのイメージ。

質問 1 2 : 市民というのは個人のことなのか。

回答 1 2 : 市民の定義づけは自治基本条例の中で行われているので、主体をまとめるのであれば、ここでもそれを参照すれば分かりやすくなると思う。

質問 1 3 : 矢印は全部同じようにつけられており、意味がないのではないか。

回答 1 3 : 社会関係資本という言葉をよく耳にするように、つながりが重視されてきており、団体間のネットワークを強めていくという意味を込めて矢印を用いている。

意見 1 4 - 1 : 矢印がたくさんあると見づらい。市民、NPO 等、自治会等として一つ、企業・大学として一つ、行政として一つで、この 3 つの重なりが I と II の重なりに対応するという表現にした方が、分かりやすいと思う。

確認 14-1 : 3つのくりにまとめてはどうかという意見だった。

補足 14-1 : 市民、NPO 等、自治会等が一つの輪、企業、大学等が一つの輪、行政の輪の、3つの重なりが新たな公共に当たる部分であると思う。

回答 14-1 : 新しい公共は、輪が重なっているところのみを意図するものではなく、企業と市民の協働などにより公的な取り組みをも担ってもらうということである。

意見 14-2 : 重なってなくてもいいが、NPO 等、自治会等は分けない方がいいと思う。

確認 14-1 : 43ページの図はネットワークを強めていくという意図があるが、矢印が多いのは分かりにくいという意見。ただし輪が重なるところだけで新しい公共の取り組みが行われるわけではないということ。

意見 14-3 : 意味のない矢印なら書かない方がいいだろう。

意見 14-4 : グラデーションの部分ではなく、様々に入り組んだ斜線のところということなら、そういう表現でいいのかもしれない。

意見 14-5 : 方向に意味のない矢印なら、書かなくてもいいかもしれない。

回答 14-3、14-4、14-5 : 対応を検討させていただく。

本日の意見を踏まえ、修正した案を電子会議室でお示しますのでご確認いただきたい。

委員長 : 審議会の日程にあわせて、事務局から報告を受け修正案を提案していくので、ご確認をお願いしたい。また本日言えなかったことがあれば、事務局まで。

(4) 今後のスケジュールについて

次策を用いて、3月末から4月のスケジュールを確認した。

参考資料を用いて、今後の審議会（部会）での論点や進め方などを説明した。

以上